

イラン北西部地震被害に対する日本政府からの緊急援助物資の引き渡し式の開催

平成 24 年 8 月 22 日、テヘラン州にある MANN 社のテヘラン工場にて、イラン北西部地震被害に対する緊急援助物資の引き渡し式が開催されました。日本側からは駒野大使、竹内 JICA 所長、イラン側からはサイド・マタニー・イラン赤新月社救援・救助副本部長、プールハンアリ国際事業・人道支援計画局長、ガラミザーデ・外務省東アジア大洋州局第 3 部専門官が同式典に出席しました。

駒野大使はスピーチで「貴国北西部で発生した地震により、多くの死傷者が出たことに深い悲しみを覚えるとともに、犠牲者及びそのご遺族に心からの哀悼の意を表します。簡易トイレ・シャワー 100 台は、誠にささやかな援助かも知れないが、住む場所を失った人々の生活の向上に少しでも貢献できることを願っている」と述べました。

引き渡し証明書に 4 者（大使館、JICA、イラン外務省、イラン赤新月社）による署名がなされ、JICA からイラン赤新月社への引き渡しが行われました。

【参考】

17 日（金）我が国政府は、イランにおける地震被害に対し、同国政府からの要請を受け、国際協力機構（JICA）を通じ、1,800 万円相当（22.5 万米ドル）の緊急物資（簡易トイレ・シャワー（100 個））を供与することを決定しました。



スピーチを行う駒野大使



簡易トイレ・シャワー